

今回夏の恒星を撮影した小諸市郊外の観測地は、天体写真の撮影場所としては最低レベルに属します。しかし、天頂（観測者から見て頭上）付近は、地上光の影響を受けにくく、比較的暗い恒星まできれいに写ります。今の時期に天頂付近に見えるのは、「天の川」と「夏の大三角」です。

天体写真集やインターネットに載っている天の川の写真は、私に言わせれば「インチキ」です。見た目よりも明るく写りすぎているからです。これはオーロラ写真についても全く同じことが言えます。天の川というのは、相当に空の暗い場所で、ぼんやりとした光芒に見える程度の明るさです。私の天体写真やオーロラ写真は、できるだけ「肉眼で見た姿に近い」ということを心がけています。それでも、この写真の天の川は、見た目よりもやや明るく写っています。

写真には、天の川、夏の大三角以外にも、「いるか座」「や座」「こぎつね座」などの小さな星座も写っていますので、探してみてください。

(2024年7月下旬／長野県小諸市)

